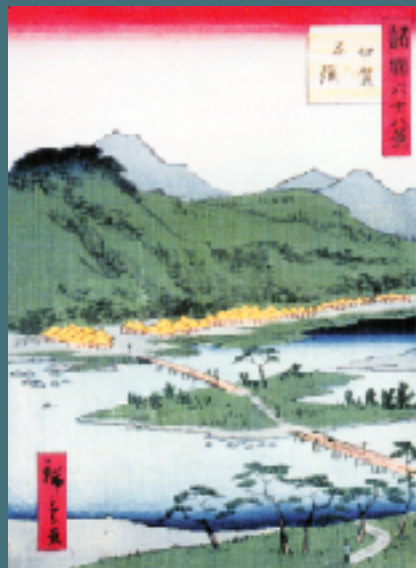


おきつもの里 文学碑を巡る

初瀬街道と名張川の清流が交差する名張は、藤堂家の城下町であり、伊勢参宮の宿場町として栄えてきた。

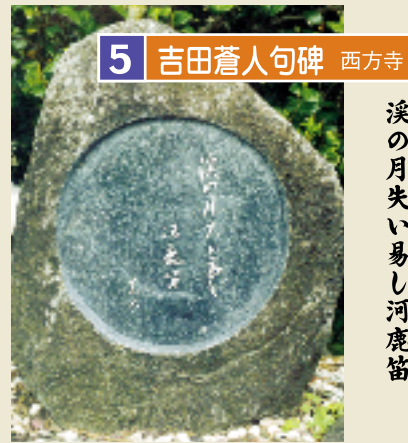
町並みには万葉のロマンを伝える歌碑や俳諧文学を培った句碑、歴史的な遺跡も多い。これらを訪ね、町を散策しませんか。



●二代目広重
「諸国六十八景 伊賀名張」



●鮎漁鵜飼之図
「三重県水産図解」から



5 吉田蒼人句碑 西方寺

溪の月失い易し河鹿笛



4 喜多村慶女句碑 専称寺

胸躍ることもなくして
木の葉



3 奥田小笛句碑 宗泰寺

花を見てかへれば暗き
我家哉



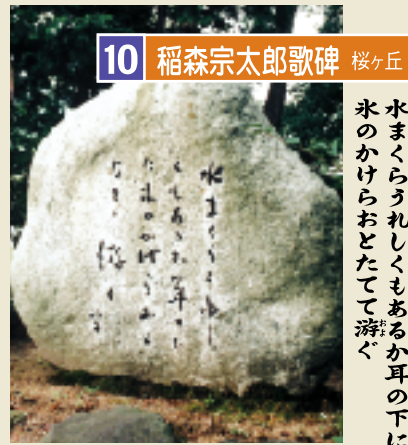
2 乱歩記念碑 新町

うつし世はゆめ、
よるの夢こそまこと



1 芭蕉句碑 栄林寺

市人や此傘の雪売らふ



10 稲森宗太郎歌碑 桜ヶ丘

水まくらうれしくもあるか耳の下に
氷のかげらおとたてて遊ぶ



9 おきつも歌碑 桜ヶ丘

旅人のころもにほはせおきつもの名
張の野への秋萩の花



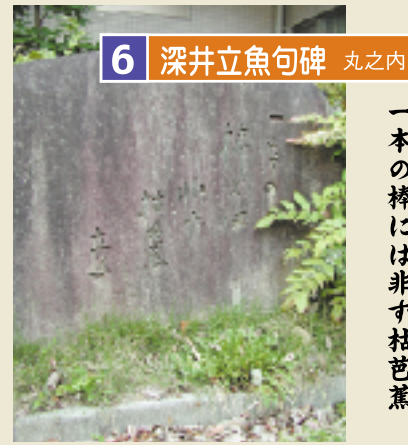
8 関本梁村句碑 桜ヶ丘

甚平きて風雨のあとに
恙無し



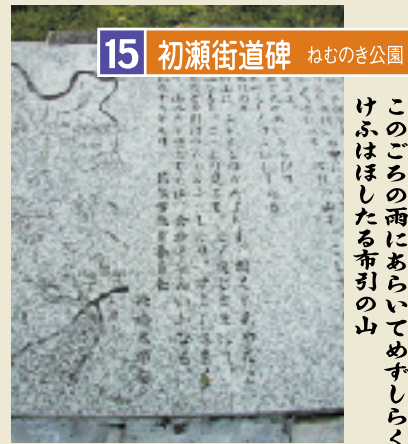
7 芭蕉句碑 長慶寺

香ににほへうにほる岡の花
梅の花



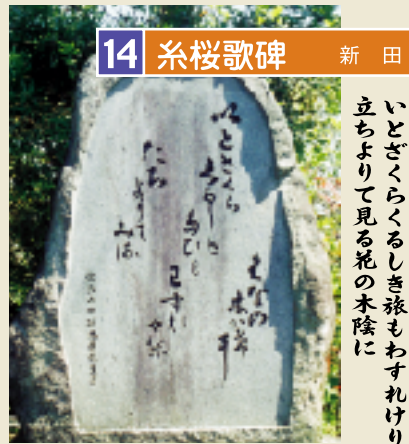
6 深井立魚句碑 丸之内

一本の棒には非ず枯芭蕉



15 初瀬街道碑 ねむのき公園

このごろの雨にあらいてめすしらく
けふはほしたる市引の山



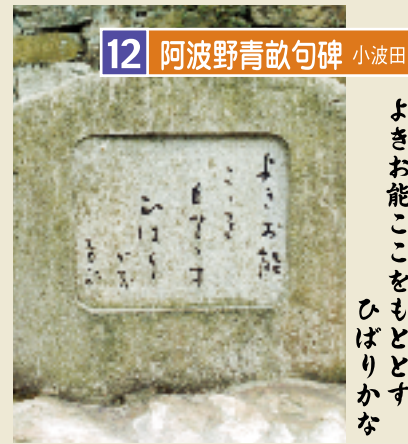
14 糸桜歌碑 新田

いとざくらくるしき旅もわれけり
立ちよりに見る花の木陰に



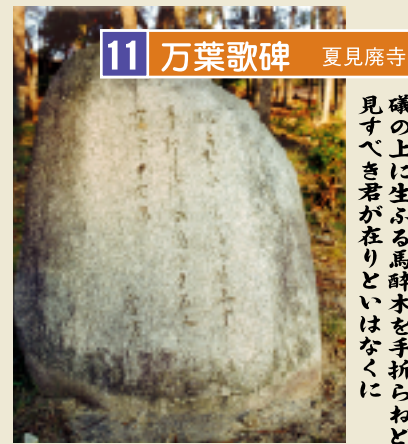
13 円形分水塔句碑 新田

雨乞いもむかし語りや
ダムの水



12 阿波野青歌句碑 小波田

よきお能ここをもとどす
ひばりかな



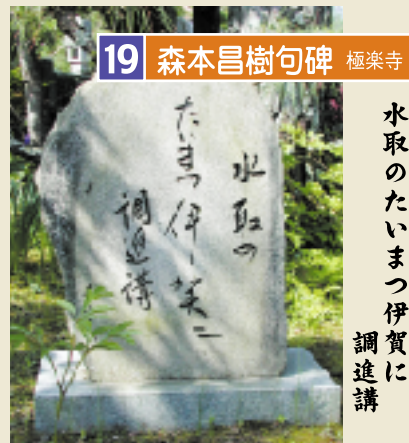
11 万葉歌碑 夏見廃寺

磯の上に生ふる馬酔木を手折らねど
見すべき君が在りといはなくに



20 菅笠日記歌碑 鹿高神社

きのふ今日ふり三ふらす三
雲はること八かたかの春の雨か那



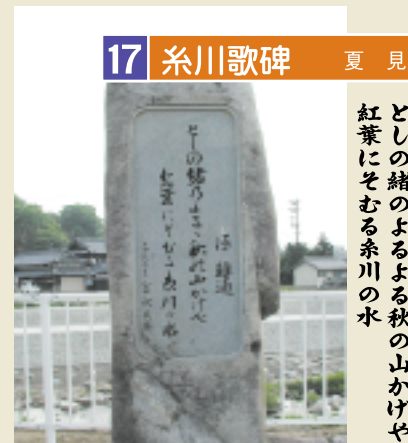
19 森本昌樹句碑 極楽寺

水取のたいまつ伊賀に
調進講



18 菊山亨女句碑 赤目滝

滝みちも名張の川も
ほそりつつ



17 糸川歌碑 夏見

どしの緒のよるよる秋の山かげや
紅葉にそむる糸川の水



16 宮城きよなみ句碑 夏見

村人は鮎を朝つり夕べつる